

第44回（令和7年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：89

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	三崎小	1年	松岡 世助	「せいすけのうんちさま」
優 秀	清水小	1年	網本 美空	「アリのすびっくり」
	清水小	2年	山本 華瑠	やさしくなかよく
入 選	清水小	1年	山崎 愛莉	「もりのパンやさん」
	清水小	1年	植垣 真海	「ともだちいいな」
	清水小	2年	久松 旦喜	カラスとぼくのパン
	三崎小	2年	西森 紬心	「心ってどこにあるのでしょうか」を読んで
	足摺岬小	2年	中川 愛海	「ぼくのねこポー」を読んで

【審査評】

1・2年生の児童が、選んでいる本は絵本がほとんどなので、そこからの感想、気付き、思いを400字詰原稿用紙2枚に最後まできっちり書き切ることは、とても大変で、（どの子どもさんも頑張って書いていただろうなあ）と感心しながら読ませてもらいました。字は読めても、読み聞かせてもらったり紹介したりしてもらうことで、読書の世界はさらに広がりますね。

よい読書環境が家庭や学校や図書館で整えられているので、選書のジャンルの幅が広く、登場人物に共感したり、心配してあげたりしながら読み手の素直な思いが書かれています。楽しんで読書に向かっていることを嬉しく思います。

中学年、高学年と是非読書好きの子どもたちが多く育っていったくれることを願っています。

第44回（令和7年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：104

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水小	4年	伊賀原 久南子	紙はゴミじゃない
優 秀	清水小	3年	竹内 蒼依	それでいい
	清水小	4年	大崎 一華	人がしらないまずしいこと
入 選	清水小	3年	橋本 千華	そのときがくるくるを読んで
	清水小	3年	今津 凜音	あきらめずにするとできることが多くなる
	三崎小	3年	宮添 ひまり	「犬がすきなぼくとおじさんとシロ」を読んで
	清水小	4年	加藤 春乃	せんそうのおそろしさ
	足摺岬小	4年	山下 永煌	「ぼくたちのだんご山会議」をよんで

【審査評】

たくさんある本の中から、自分で選んでしっかり読み込んで書けている感想文ばかりでした。
素直な気持ちがとても表現できています。
漢字の間違ひが多くあったのは残念です。最後に読み返して気をつけましょう。

第44回（令和7年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：95

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水小	5年	山崎 和佳	「タロとジロ」を読んで
優 秀	足摺岬小	5年	山崎 葵	大切なもの
	清水小	6年	今津 海	ポリ袋一枚から
入 選	清水小	5年	長崎 衣乃莉	「二番目の悪者」を読んで
	清水小	5年	福岡 そら	さよならプラスチック・ストロー
	清水小	6年	西尾 優寿	二番目の悪者
	三崎小	6年	窪内 碧	自分とちがっていても
	足摺岬小	6年	川久保 カー	運動ができなくても

【審査評】

どの作品も誤字、脱字が少なく丁寧に書かれていました。「命」や「平和」という生きていくうえで大切なことがテーマになった本の感想文が多くありました。読みながら自分の経験や思っていることなどを振り返って、これからの考えや行動を高めていこうとするところに感心しました。

また、これは読んでみたいと興味ひかれる本（テーマ）の感想があり、新鮮でした。選書の大切さを実感しました。

全作品に共通して、本を読んで考えの根拠をしめしながら、自分の心の変化をていねいに書き進んでいこうとする姿勢が伝わってきました。先生方の指導もあったことと思います。

原稿用紙2枚半ほどで終わって惜しいと思った作品が少なからずありました。規定枚数（原稿用紙3枚）に挑戦してほしいものです。

第44回（令和7年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜中学校の部＞応募総数：152

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清 水 中 学 校	2年	寺田 弥智瑠	「小さなまなざし」
優 秀	清 水 中 学 校	1年	植垣 七海	「私の人生を変えた本」
	清 水 中 学 校	2年	森岡 廉士	「僕にとっての自由とは」
入 選	清 水 中 学 校	1年	兼松 宏遠	「これからのお弁当は…」
	清 水 中 学 校	2年	松本 新子	「私のソウル」
	清 水 中 学 校	3年	川村 萌寧	ひとりではじめてアフリカボランティア

【審査評】

今年は夏休みの国語科の宿題として課された読書感想文に中学生全員が取り組んだ。各自が読んだ本の印象に残った部分を中心に、自分の経験や体験と重ねて自分の生き方を考えたり、将来のことを考えたりする機会となった。

読書対象として選ばれていた本は、社会的な問題をテーマに取り扱ったものや自分自身の経験や体験に重なるもの等多岐にわたっていた。

AIが発達してきた現在だからこそ、自分の言葉でしっかり思いや感想を書く力を育てるべきだと思う。今回は特に、自分の言葉で感想をたくさん書けている作品が受賞した。

これからも朝読書の時間や学校図書館、市立図書館等で、多くの本に接してもらいたい。

第44回（令和7年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜高等学校の部＞応募総数：59

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水高	2年	真浜 寧々	普通に生きることとは
優秀	清水高	1年	寺岡 沙城	もし銀河鉄道に乗ったなら
入選	清水高	2年	中城 百愛	「魔女が私に教えてくれたこと」

【審査評】

幅広いテーマについて瑞々しい感性で書かれた作品に、時間も忘れて楽しませていただきました。

そのなかでも、周囲にとっての「普通」から外れた主人公の姿に、「普通」とは一体何なのか、自分の思う「普通」は普通ではないのではないかと考えさせられたという作品。『銀河鉄道の夜』に描かれた情景を豊かに想像しながら、また、ジョバンニとカムパネルラに心を寄り添わせながら物語の美しさを味わう作品。主人公の境遇に自身の体験や思いを重ねて、自分らしく生きることの大切さを改めて実感したという作品。以上の3つは秀逸でした。

このように、さまざまな本に描かれた世界に触れ、自分自身や身の回りのことに対する考えを深めること、そこで感じたことを感じたままに自分の言葉で述べることは、人間的な成長への一歩となるはずです。

高校生の皆さんがこの素晴らしい読書体験を通じて視野を広げ、今後の生活を豊かな実りあるものにしてくれることを願います。